

# 道徳だより No. 3



2019. 7. 8  
高松市立塩江小学校

## 6月の道徳の日「道徳の授業」

道徳の授業を通して、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることをねらいとしています。保護者の皆様、授業について話し合いの時間をとって、お子さんへのメッセージを書いていただきありがとうございました。

### 1年生

「おじいちゃんのたんざく」のお話から、自分の成長を願う家族の愛情があることに気づき、自分の命の大切さについて考えました。自分が元気に過ごせるのは、家族が自分の命を大切にしてくれているおかげだと実感し、家族への感謝がいっぱいの短冊を書くことができました。

じぶんの たんざくを かんがえよう

じぶんもかぞくもみんなも  
おれせになりますように  
もしあせになりますように

おうちのひとから

おかあさんいつも ちゃんのおおせをいっています。 ちゃんか おかあさんのとこに  
うまれてきてくれて おかあさんほとてもしあせです。ありがとうございます。  
ちゃんか げんまで しあせに なかいました。 ちた。 おかあさんほも、としあせ  
に びれま。 ほのて しあせに びて さい、よろしく。



こんなに小さかったんだ！

### 2年生

〈せかいで1ばん大切なものを学んで思ったこと〉

なくなったらいきかえら  
ないからこれからのちをまもります。  
おかあさん生んでくれてありがとう。

〈お家の人から〉

木や草ものについて がんばりしてたんだね、生きてるものには  
ずいぶん「いのち」がある、だいにしていいからね、  
元気に生まれてきてくれてありがとう。



「せかいでいちばん大切なもの」を考えました。自分の生命は、周りの人に大切にされて育ち、かけがえのないものであることを学びました。

### 3年生

これからの自分

大きくなるとか、  
しかないうちから大きくなるとか、  
いいです。

お家の人から

どんな生き物にも命があって、おもしろいからうらやまはいいりません。自分がくるしい時にも  
あいつの気持ちも考えておもしろいやりをもらって下さい。



姿形が違って、どんなに小さくても「大切な一つの命」にかわりはないことを学びました。理科の授業での昆虫への接し方や育てている植物の水やりのことを振り返り、それらの命とも丁寧に関わりたいと考えました。

## 4年生

6月の「道徳の日」は、読み物資料「わたしのいのち」を使って道徳の学習をしました。おじいちゃんの話聞き、人生という限りある命でどのように生きていけばいいのかを考えました。振り返りの感想では、「自分の命をこれからも大切にしていきたい。」「今までつながってきた命のバトンを、自分の子どもにもつなげていきたい。」など、今月の生活目標「自分を大切にしよう」につながる感想が多くありました。

お家の人から

あなたの命は、代々つながっています。これからも命がうけついでいけるお、いしょうけんめい生きてください。



## 5年生

るだちや知り合いも、まなさんま母さんが  
はた大セリナ、大セリ命が一人一人大事  
ニ、た、ものだと思いました。  
おうちの人から

大切な命を、家族みんなが守ってくれた命をこれからも大切に、元気でいてね。

「母とながめた一番星」では、自分の命は一人だけのものではなく、家族や周りの人に大切に育てられた命であることに気付きました。学んだことを生かし、これからも自分を大切にしたいと考えました。



## 6年生

私は毎日をつつに過ごしているのでも、いつも支えてくれる人や一日に感謝の気持ちをもて過ごしていきたいです。

生きているからこそ感情を出したり人を大切にしたりすることができると分かりました。これからもっと感謝の気持ちをもて過ごしていきたいです。



おうちの人から

うれしい時、悲しい時、いろいろな時がありますが、今生きているということは本当に幸せなことですね。

あとにまの毎日を感謝しながら一日を大切に過ごしていきましょう。

普通に生活できる事って、ほんとに幸せなことだよ。という事(二気管吐いたわ。あつりまえて気がおつた「命の木」)。一日一日大切に過ごしていきな。

若くして亡くなった瞳さんが弁論大会で伝えたかったことを想像し、話し合うことで、命の有難さや命が多くの人に支えられていることに気付きました。「家族と話をする時間をもっととりたい。」など、気に留めていなかった普段の生活をもっと大切にしたいという思いをもちました。



## 7月の道徳の日

### 校内水泳大会（7月10日）

自分のめあてに向かって、あきらめないで努力することや、友達を応援したり、縦割り班で協力したりしながら水泳大会を楽しむことをねらいとしています。

